

デジタル指示調節計 SC-F71 パラメーター 一覧

081-65708-02 All Rights Reserved. Copyright © 2018, TLV CO., LTD.

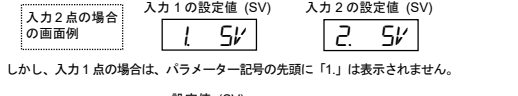
081-65708-02 All Rights Reserved. Copyright © 2018, TLV CO., LTD. 本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みください。内容を理解されたうえでご使用ください。なお、本書は大切に保管し、必要なときにご活用ください。本書はSC-F71のパラメーターをまとめたものです。

詳細な取り扱いや操作などについては、別冊の「SC-F71取扱説明書」を参照してください。下記のサイトからダウンロードできます。(ダウンロードにはTLV会員登録(無料)が必要です) https://www.tlv.com/ja/download/login.php

本書の表記について

SC-F71は、入力点数が2点(測定入力1点+リポート設定入力1点、または測定入力2点)あります。

入力1と入力2で同じパラメーターが存在する場合があります。これらを識別するために、各パラメーター番号の先頭に「1」や「2」が表示されます。



本書では、入力2点の場合で表記しています。入力1点の場合は、パラメーター番号の先頭の「1」は表示しないものとしてお読みください。

本書での表記例

入力1点の場合 実際は表示しない

名称欄に「★」が表記されているパラメーターは、表示条件がそろった場合のみ表示されます。

名称欄に「★」が表記されているパラメーターは、メモリーエリア対応のデータです。

No. 欄の数字は「画面番号」です。パラメーターセレクト機能で画面登録する際に表示されます。

A. モニター&SV設定モード [MONI または (SET)]

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
1		入力1の測定値(PV)/入力1の設定値(SV)	測定値(PV)表示器: 入力1の入力レンジ下限 ~(入力1の入力レンジの5%) ~(入力1の入力レンジ上限 +(入力1の入力レンジの5%)) [小数点位置は、小数点位置設定による] 設定値(SV)表示器: • 入力1の設定値(SV) (オートモード: RUN時) • STOP表示 • リポート設定入力値 (リモートモード時) • 入力1のマニュアル操作出力値 (マニュアルモード時)	—
1		連携入力の測定値(PV)/入力1の設定値(SV)	測定値(PV)表示器: 入力1で制御中のとき: 入力1の入力レンジ下限 ~(入力1の入力レンジの5%) ~(入力1の入力レンジ上限 +(入力1の入力レンジの5%)) 入力2で制御中のとき: 入力2の入力レンジ下限 ~(入力2の入力レンジの5%) ~(入力2の入力レンジ上限 +(入力2の入力レンジの5%)) [小数点位置は、小数点位置設定による] 設定値(SV)表示器: • 入力1の設定値(SV) (オートモード: RUN時) • STOP表示 • 入力1のマニュアル操作出力値 (マニュアルモード時)	—
2		入力2の測定値(PV)/入力2の設定値(SV)	測定値(PV)表示器: 入力2の入力レンジ下限 ~(入力2の入力レンジの5%) ~(入力2の入力レンジ上限 +(入力2の入力レンジの5%)) [小数点位置は、小数点位置設定による] 設定値(SV)表示器: • 入力2の設定値(SV) (オートモード: RUN時) • STOP表示 • 入力2のマニュアル操作出力値 (マニュアルモード時)	—
3		差温入力の測定値(PV)/差温入力の設定値(SV)	測定値(PV)表示器: -19999~+99999 [小数点位置は、小数点位置設定による] 設定値(SV)表示器: ~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	—
4		入力1の測定値(PV)/入力2の測定値(PV)	測定値(PV)表示器: 入力1の入力レンジ下限 ~(入力1の入力レンジの5%) ~(入力1の入力レンジ上限 +(入力1の入力レンジの5%)) [小数点位置は、小数点位置設定による] 設定値(SV)表示器: • 入力2の設定値(SV) (オートモード: RUN時) • STOP表示 • 入力2のマニュアル操作出力値 (マニュアルモード時)	—
24	1 SV	入力1の設定値(SV)	入力1の設定リミッター下限 ~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	0
25	2 SV	入力2の設定値(SV)	入力2の設定リミッター下限 ~(入力2の入力レンジ) ~+(入力2の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	0
26	dSV	差温入力の設定値(SV)	~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	0
5	SVR	リモート設定入力値モニター	入力1の設定リミッター下限 ~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	—
6	1 MV	入力1の操作出力値モニター [加熱側]	-5.0~+105.0%	—
7	1 MVc	入力1の操作出力値モニター [冷却側]	-5.0~+105.0%	—
8	2 MV	入力2の操作出力値モニター	-5.0~+105.0%	—
9	EVENT	総合イベント状態	イベント発生時は、以下のキャラクタを設定値(SV)表示器に表示します。複数のイベントが発生している場合は、0.5秒ごとにキャラクタを切り替えて表示します。 Ebf1: イベント1 Ebf2: イベント2 Ebf3: イベント3 Ebf4: イベント4 InUp: 入力1の入力異常上限 InLdn: 入力1の入力異常下限 In2Up: 入力2の入力異常上限 In2Dn: 入力2の入力異常下限	—
10	RP	メモリーエリア運転経過時間モニター	0時間00分00秒 ~9時間59分59秒 0時間00分~99時間59分 0分00秒~199分59秒 [時間単位は、ソーク時間単位設定による]	—
11	1soFF	入力1のソフトスタート遅延時間	0時間00分~99時間59分 0分00秒~199分59秒 [時間単位は、ソフトスタート時間単位設定による]	—
12	2soFF	入力2のソフトスタート遅延時間	0時間00分~99時間59分 0分00秒~199分59秒 [時間単位は、ソフトスタート時間単位設定による]	—
13	ILR	インターロック解除	oFF: インターロック解除 on: インターロック状態	oFF

B. パラメーターセレクトモード [MODE + (V)]

ユーザーが選択した画面を最大16画面表示します。選択方法については、パラメーターセレクト機能の使用法(P.4)を参照してください。

C. 運転切り換えモード [MODE (2秒)]

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
15	R/S	RUN/STOP切り換え	oFF: RUN (制御開始) oFF: STOP (制御停止)	5oP
16	1 RFU	入力1のオートチューニング(AT)	oFF: PID制御 on: AT実行 AT終了後、自動的にoFFに戻ります	oFF
17	2 RFU	入力2のオートチューニング(AT)	oFF: PID制御 on: AT実行 AT終了後、自動的にoFFに戻ります	oFF
18	1 SFU	入力1のスタートアップチューニング(ST)	oFF: ST不使用 on1: 1回実行 on2: 毎回実行 * ST終了後、自動的にoFFに戻ります	oFF
19	2 SFU	入力2のスタートアップチューニング(ST)	oFF: ST不使用 on1: 1回実行 on2: 毎回実行 * ST終了後、自動的にoFFに戻ります	oFF
20	1 R/M	入力1のオート/マニュアル切り換え	RF: オートモード MF: マニュアルモード	oRn
21	2 R/M	入力2のオート/マニュアル切り換え	RF: オートモード MF: マニュアルモード	oRn
22	R/L	リモート/ローカル切り換え	• 入力2の用途選択で「リモート設定入力」を選択したとき Lo: ローカルモード Re: リモートモード	LoC
23	L/E	制御エリア内部(ローカル)/外部(エクスターナル)切り換え	Lo: ローカルモード E: エクスターナルモード	LoC

D. 設定ロックモード [(SET) (4秒)]

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
	LoCK	設定データアンロック/ロック切り換え	oFF: アンロック状態 on: ロック状態	oFF
	LoCKLV	設定ロックレベル	0: 設定変更可能 1: 設定変更不可	00000
	ARELK	エリアロック	0: 設定データロック時メモリーエリア変更可能 1: 設定データロック時メモリーエリア変更不可	0
	BLIND	ブラインド機能選択	oFF: 機能OFF on: 機能ON	oFF
	PSLD	パラメーターセレクト直接登録	oFF: パラメーターセレクト画面直接登録OFF on: パラメーターセレクト画面直接登録ON	oFF
	PSLD1	パラメーターセレクト設定1	1~351 (画面番号) 0: 登録なし	0
	:	:	:	:
	PSLD16	パラメーターセレクト設定16	1~351 (画面番号) 0: 登録なし	0

E. メモリーエリア切り換えモード [AREA]

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
14	AREA	メモリーエリア切り換え	1~16	1

F. パラメーター設定モード [(SET) (2秒)]

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
	Pn00	パラメーターグループNo.00の最初のパラメーター	—	—
24	1 SV	入力1の設定値(SV)	入力1の設定リミッター下限 ~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	0
25	2 SV	入力2の設定値(SV)	入力2の設定リミッター下限 ~(入力2の入力レンジ) ~+(入力2の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	0
26	dSV	差温入力の設定値(SV)	~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	0

G. パラメーターグループNo.40の最初のパラメーター

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
27	EV1	イベント1設定値(EV1) [上側]	偏差: • 入力1または差温入力に割り付けた場合 ~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) • 入力2に割り付けた場合 ~(入力2の入力レンジ) ~+(入力2の入力レンジ) • 入力2の用途選択で2入力連携制御を選択した場合 ~(連携入力の入力レンジ) ~+(連携入力の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による] 入力値または設定値: • 入力1に割り付けた場合 入力1の入力レンジ下限 ~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) • 入力2に割り付けた場合 入力2の入力レンジ下限 ~(入力2の入力レンジ) ~+(入力2の入力レンジ) • 差温入力に割り付けた場合 ~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) • 入力2の用途選択で2入力連携制御を選択した場合 連携入力の入力レンジ下限 ~(連携入力の入力レンジ) ~+(連携入力の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による] 操作出力値: -5.0~+105.0%	上側動作、上下限動作の場合: 最大値 下側動作、範囲内動作の場合: 最小値
	Pn40	パラメーターグループNo.40の最初のパラメーター	—	—
47	2 P	パラメーターグループNo.52の最初のパラメーター	熱電対(TC)/測温抵抗体(RTD)入力: 0(0.0, 0.00)~入力2の入力レンジ [小数点位置は、小数点位置設定による] 電圧(V)/電流(I)入力: 入力2の入力レンジの0.0~100.0% 0(0.0, 0.00): 二位置(ON/OFF)動作 ※入力2の制御動作がMC(VCOS(R))による温度制御の場合は、0(0.0, 0.00)は設定できません。	TC/RTD入力: 30 V/I入力: 3.0
48	2 I	入力2の積分時間	0~3600秒、0.0~3600.0秒または0.00~360.00秒 0(0.0, 0.00): PD動作 [小数点位置は、積分/微分時間の小数点位置設定による]	240
49	2 d	入力2の微分時間	入力1の微分時間と同じ	—
50	2 oHh	入力2の二位置動作すきま上側	熱電対(TC)/測温抵抗体(RTD)入力: 0(0.0, 0.00)~入力2の入力レンジ [小数点位置は、小数点位置設定による] 電圧(V)/電流(I)入力: 入力2の入力レンジの0.0~100.0% [小数点位置は、小数点位置設定による]	TC/RTD入力: 1 V/I入力: 0.1
51	2 oHl	入力2の二位置動作すきま下側	入力2の二位置動作すきま上側と同じ	—
52	2 RPF	入力2の制御応答パラメーター	0: Slow 1: Medium 2: Fast [P, PD動作時は無効]	0
53	2 PRPF	入力2のプロアテック強度	0~4 0: 機能なし	2
54	2 MR	入力2のマニュアルリセット	-100.0~+100.0%	0.0
55	2 FF	入力2のFF量	-100.0~+100.0%	0.0
56	2 oLh	入力2の出力リミッター上側	入力2の出力リミッター下限 ~105.0%	105.0
57	2 oLl	入力2の出力リミッター下側	-5.0~入力2の出力リミッター上限	-5.0
58	2 McdB	入力2の不感帯	0~入力2の入力レンジの10% [小数点位置は変更できません]	表1参照

表1 不感帯の出荷値

制御動作	0	1	2	3	4	10	11	12	13	14
3	0.03	0.03	0.04	0.4	0.003	—	—	—	—	—
4	0.04	0.04	0.4	0.4	0.004	—	—	—	—	—
5	0.10	0.10	1.5	1.0	0.010	—	—	—	—	—
6	0.10	0.10	1.5	1.0	0.010	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—	7	10	0.3	0.14	1

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
28	EV1	イベント1設定値(EV1) [下側]	偏差: • 入力1または差温入力に割り付けた場合 ~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) • 入力2に割り付けた場合 ~(入力2の入力レンジ) ~+(入力2の入力レンジ) • 入力2の用途選択で2入力連携制御を選択した場合 ~(連携入力の入力レンジ) ~+(連携入力の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による] 入力値または設定値: • 入力1に割り付けた場合 入力1の入力レンジ下限 ~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) • 入力2に割り付けた場合 入力2の入力レンジ下限 ~(入力2の入力レンジ) ~+(入力2の入力レンジ) • 差温入力に割り付けた場合 ~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) • 入力2の用途選択で2入力連携制御を選択した場合 連携入力の入力レンジ下限 ~(連携入力の入力レンジ) ~+(連携入力の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	上下限動作の場合: 最小値 範囲内動作の場合: 最大値
29	EV2	イベント2設定値(EV2) [上側]	イベント1設定値(EV1)/イベント1設定値(EV1) [上側]と同じ	—
30	EV2	イベント2設定値(EV2) [下側]	イベント1設定値(EV1) [下側]と同じ	—
31	EV3	イベント3設定値(EV3) [上側]	イベント1設定値(EV1)/イベント1設定値(EV1) [上側]と同じ	—
32	EV3	イベント3設定値(EV3) [下側]	イベント1設定値(EV1) [下側]と同じ	—
33	EV4	イベント4設定値(EV4) [上側]	イベント1設定値(EV1)/イベント1設定値(EV1) [上側]と同じ	—
34	EV4	イベント4設定値(EV4) [下側]	イベント1設定値(EV1) [下側]と同じ	—

H. パラメーターグループNo.51の最初のパラメーター

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
35	1 P	熱電対(TC)/測温抵抗体(RTD)入力	0(0.0, 0.00)~入力1の入力レンジ [単位: °C/°F] (2入力連携制御時: 0~連携入力の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による] 電圧(V)/電流(I)入力: 入力1の入力レンジの0.0~100.0% (2入力連携制御時: 連携入力の入力レンジの0.0~100.0%) 0(0.0, 0.00): 二位置(ON/OFF)動作 ※入力1の制御動作がMC(VCOS(R))による温度制御の場合は、0(0.0, 0.00)は設定できません。	TC/RTD入力: 30 V/I入力: 3.0
36	1 I	入力1の積分時間 [加熱側]	0~3600秒、0.0~3600.0秒または0.00~360.00秒 0(0.0, 0.00): PD動作 [小数点位置は、積分/微分時間の小数点位置設定による]	240
37	1 d	入力1の微分時間 [加熱側]	0~3600秒、0.0~3600.0秒または0.00~360.00秒 0(0.0, 0.00): PI動作 [小数点位置は、積分/微分時間の小数点位置設定による]	60
38	1 oHh	入力1の二位置動作すきま上側	熱電対(TC)/測温抵抗体(RTD)入力: 0(0.0, 0.00)~入力1の入力レンジ [単位: °C/°F] (2入力連携制御時: 0~連携入力の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	TC/RTD入力: 1 V/I入力: 0.1
39	1 oHl	入力1の二位置動作すきま下側	入力1の二位置動作すきま上側と同じ	—
40	1 RPF	入力1の制御応答パラメーター	0: Slow 1: Medium 2: Fast [P, PD動作時は無効]	PID制御: 0 加熱制御: PID制御: 2
41	1 PRPF	入力1のプロアテック強度	0~4 0: 機能なし	2
42	1 MR	入力1のマニュアルリセット	-100.0~+100.0%	0.0
43	1 FF	入力1のFF量	-100.0~+100.0%	0.0
44	1 oLh	入力1の出力リミッター上側 [加熱側]	入力1の出力リミッター下限 ~105.0%	105.0
45	1 oLl	入力1の出力リミッター下側 [加熱側]	-5.0~入力1の出力リミッター上限	-5.0
46	1 McdB	入力1の不感帯	0~入力1の入力レンジの10% [小数点位置は変更できません]	表1参照

I. パラメーターグループNo.52の最初のパラメーター

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
47	2 P	パラメーターグループNo.52の最初のパラメーター	熱電対(TC)/測温抵抗体(RTD)入力: 0(0.0, 0.00)~入力2の入力レンジ [単位: °C/°F] [小数点位置は、小数点位置設定による] 電圧(V)/電流(I)入力: 入力2の入力レンジの0.0~100.0% 0(0.0, 0.00): 二位置(ON/OFF)動作 ※入力2の制御動作がMC(VCOS(R))による温度制御の場合は、0(0.0, 0.00)は設定できません。	TC/RTD入力: 30 V/I入力: 3.0
48	2 I	入力2の積分時間	0~3600秒、0.0~3600.0秒または0.00~360.00秒 0(0.0, 0.00): PD動作 [小数点位置は、積分/微分時間の小数点位置設定による]	240
49	2 d	入力2の微分時間	入力1の微分時間と同じ	—
50	2 oHh	入力2の二位置動作すきま上側	熱電対(TC)/測温抵抗体(RTD)入力: 0(0.0, 0.00)~入力2の入力レンジ [単位: °C/°F] [小数点位置は、小数点位置設定による]	TC/RTD入力: 1 V/I入力: 0.1
51	2 oHl	入力2の二位置動作すきま下側	入力2の二位置動作すきま上側と同じ	—
52	2 RPF	入力2の制御応答パラメーター	0: Slow 1: Medium 2: Fast [P, PD動作時は無効]	0
53	2 PRPF	入力2のプロアテック強度	0~4 0: 機能なし	2
54	2 MR	入力2のマニュアルリセット	-100.0~+100.0%	0.0
55	2 FF	入力2のFF量	-100.0~+100.0%	0.0
56	2 oLh	入力2の出力リミッター上側	入力2の出力リミッター下限 ~105.0%	105.0
57	2 oLl	入力2の出力リミッター下側	-5.0~入力2の出力リミッター上限	-5.0
58	2 McdB	入力2の不感帯	0~入力2の入力レンジの10% [小数点位置は変更できません]	表1参照

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
	Pn56	パラメーターグループNo.56の最初のパラメーター	—	—
59	1 P	熱電対(TC)/測温抵抗体(RTD)入力	0(0.0, 0.01)~入力1の入力レンジ [単位: °C/°F] (2入力連携制御時: 1~連携入力の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による] 電圧(V)/電流(I)入力: 入力1の入力レンジの0.1~1000.0% (2入力連携制御時: 連携入力の入力レンジの0.1~1000.0%)	TC/RTD入力: 30 V/I入力: 3.0
60	1 I	入力1の積分時間 [冷却側]	入力1の積分時間 [加熱側]と同じ	—
61	1 d	入力1の微分時間 [冷却側]	入力1の微分時間 [加熱側]と同じ	—
62	1 oLh	入力1のオーバーラップ/デッドバンド	熱電対(TC)/測温抵抗体(RTD)入力: ~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) [2入力連携制御時: ~(連携入力の入力レンジ) ~+(連携入力の入力レンジ)] [単位: °C/°F] [小数点位置は、小数点位置設定による]	TC/RTD入力: 0 V/I入力: 0.0
63	1 oLhc	入力1の出力リミッター下側 [冷却側]	入力1の出力リミッター下側 [加熱側]と同じ	105.0
64	1 oLlc	入力1の出力リミッター下側 [冷却側]	-5.0~入力1の出力リミッター上側 [加熱側]	-5.0

J. パラメーターグループNo.70の最初のパラメーター

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
65	FRGA	エリア切り換えのトリガー選択	0~63 0: 割り付けなし +1: イベント1 +2: イベント2 +3: イベント3 +4: イベント4 +8: デジタル入力(DI1) クローズエッジ +32: デジタル入力(DI1) オープンエッジ 複数を指定する場合は、それぞれの値を算じます。	0
66	RSF	エリアソーク時間	0時間00分00秒 ~9時間59分59秒 0時間00分~99時間59分 0分00秒~199分59秒 [時間単位は、ソーク時間単位設定による]	0:00 (0分00秒)
67	LNRA	リンク先エリア番号	0~16 0: リンクなし	0
68	1SFFU	入力1のソフトスタート時間上昇	0時間00分~99時間59分 0分00秒~199分59秒 [時間単位は、ソフトスタート時間単位設定による]	0:00 (0分00秒)
69	1SFFd	入力1のソフトスタート時間下降	0時間00分~99時間59分 0分00秒~199分59秒 [時間単位は、ソフトスタート時間単位設定による]	0:00 (0分00秒)
70	1SVRU	入力1の設定変率リミッター上昇	0~入力1の入力レンジ (2入力連携制御時: 0~連携入力の入力レンジ) 0: 機能なし [小数点位置は、小数点位置設定による]	0
71	1SVRD	入力1の設定変率リミッター下降	入力1の設定変率リミッター上昇と同じ	—
72	1R/M	入力1のエリア切り換え時のオート/マニュアル選択	0: 切り換えなし 1: オートモード(パンプレス) 2: オートモード(パンブ) 3: マニュアルモード(パンプレス) 4: マニュアルモード(パンブ)	0
73	1MVA	入力1のエリア切り換え時の操作出力値	加熱冷却PID制御の場合: -105.0~+105.0% その他制御の場合: -5.0~+105.0% [1R/Mに2または4を設定しているとき]	加熱冷却PID制御: 0.0 その他: 制御:-5.0
74	2SFFU	入力2のソフトスタート時間上昇	0時間00分~99時間59分 0分00秒~199分59秒 [時間単位は、ソフトスタート時間単位設定による]	0:00 (0分00秒)
75	2SFFd	入力2のソフトスタート時間下降	0時間00分~99時間59分 0分00秒~199分59秒 [時間単位は、ソフトスタート時間単位設定による]	0:00 (0分00秒)
76	2SVRU	入力2の設定変率リミッター上昇	0~入力2の入力レンジ 0: 機能なし [小数点位置は、小数点位置設定による]	0
77	2SVRD	入力2の設定変率リミッター下降	入力2の設定変率リミッター上昇と同じ	—
78	2R/M	入力2のエリア切り換え時のオート/マニュアル選択	0: 切り換えなし 1: オートモード(パンプレス) 2: オートモード(パンブ) 3: マニュアルモード(パンプレス) 4: マニュアルモード(パンブ)	0
79	2MVA	入力2のエリア切り換え時の操作出力値	-5.0~+105.0% [2R/Mに2または4を設定しているとき]	-5.0
80	R/L	エリア切り換え時のリモート/ローカル選択	• 入力2の用途選択で「リモート設定入力」を選択したとき 0: 切り換えなし 1: ローカルモード 2: リモートモード • 入力2の用途選択で「カスケード制御」を選択したとき 0: 切り換えなし 1: シングル制御 2: カスケード制御	0

K. セットアップ設定モード [(SET) + MODE]

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
	Sn10	設定グループNo.10	設定グループNo.10の最初のパラメーター	—
81	pycy	表示更新周期	1: 50ms 2: 100ms 3: 150ms 4: 200ms 5: 250ms 6: 300ms 7: 350ms 8: 400ms 9: 450ms 10: 500ms	1
	Sn21	設定グループNo.21	設定グループNo.21の最初のパラメーター	—
82	1 Pb	入力1のPVバイアス	~(入力1の入力レンジ) ~+(入力1の入力レンジ) [2入力連携制御時: ~(連携入力の	

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
86	2. Pb	入力2のPVバイアス (RS バイアス)	入力2のPVバイアス -(入力2の入カスパン) ~+(入力2の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	0
87	2. df	入力2のPVデジタルフィルター (RS デジタルフィルター)	0.0~100.0 秒 0.0: 機能なし	0.0
88	2. PR	入力2のPVレシオ (RS レシオ)	入力2のPVレシオ 0.500~1.500 RS レシオ 0.001~9.999	1.000
89	2. PLC	入力2のPV低入力カットオフ	入力2の入カスパンの 0.00~25.00 %	0.00
90	F3	設定グループ No. 30	設定グループ No. 30 の最初のパラメーター	—
91	Mf3	OUT3 比例周波数	0.1~100.0 秒	2.0
92	MMV	設定グループ No. 51	設定グループ No. 51 の最初のパラメーター	—
93	ILEV1	入力1のレベルPID設定1	入力1のレベルPID設定1 ~(入力1の入カスパン) ~+(入力1の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力1の入カスパン
94	ILEV2	入力1のレベルPID設定2	入力1のレベルPID設定2 ~(入力1の入カスパン) ~+(入力1の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力1の入カスパン
95	ILEV3	入力1のレベルPID設定3	入力1のレベルPID設定3 ~(入力1の入カスパン) ~+(入力1の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力1の入カスパン
96	ILEV4	入力1のレベルPID設定4	入力1のレベルPID設定4 ~(入力1の入カスパン) ~+(入力1の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力1の入カスパン
97	ILEV5	入力1のレベルPID設定5	入力1のレベルPID設定5 ~(入力1の入カスパン) ~+(入力1の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力1の入カスパン
98	ILEV6	入力1のレベルPID設定6	入力1のレベルPID設定6 ~(入力1の入カスパン) ~+(入力1の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力1の入カスパン
99	ILEV7	入力1のレベルPID設定7	入力1のレベルPID設定7 ~(入力1の入カスパン) ~+(入力1の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力1の入カスパン
100	2. MMV	設定グループ No. 52	設定グループ No. 52 の最初のパラメーター	—
101	2LEV1	入力2のレベルPID設定1	入力2のレベルPID設定1 ~(入力2の入カスパン) ~+(入力2の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2の入カスパン
102	2LEV2	入力2のレベルPID設定2	入力2のレベルPID設定2 ~(入力2の入カスパン) ~+(入力2の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2の入カスパン
103	2LEV3	入力2のレベルPID設定3	入力2のレベルPID設定3 ~(入力2の入カスパン) ~+(入力2の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2の入カスパン
104	2LEV4	入力2のレベルPID設定4	入力2のレベルPID設定4 ~(入力2の入カスパン) ~+(入力2の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2の入カスパン
105	2LEV5	入力2のレベルPID設定5	入力2のレベルPID設定5 ~(入力2の入カスパン) ~+(入力2の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2の入カスパン
106	2LEV6	入力2のレベルPID設定6	入力2のレベルPID設定6 ~(入力2の入カスパン) ~+(入力2の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2の入カスパン
107	2LEV7	入力2のレベルPID設定7	入力2のレベルPID設定7 ~(入力2の入カスパン) ~+(入力2の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2の入カスパン
108	1. AFB	設定グループ No. 53	設定グループ No. 53 の最初のパラメーター	—
109	1AFFM	入力1のAT残り時間モニター	0: AT/ST 終了 1: AT 実行中 2: ST 実行中 -1: 設定変更による中止 -2: 入力異常による中止 -3: タイムアウトによる中止 -4: 定数算出異常による中止	—
110	1AFUNE	入力1のAT/ST状態モニター	0: AT/ST 終了 1: AT 実行中 2: ST 実行中 -1: 設定変更による中止 -2: 入力異常による中止 -3: タイムアウトによる中止 -4: 定数算出異常による中止	—
111	2. AFB	設定グループ No. 54	設定グループ No. 54 の最初のパラメーター	—
112	2AFFM	入力2のAT残り時間モニター	0: 時間 00分~48時間 00分	—
113	2AFUNE	入力2のAT/ST状態モニター	0: AT/ST 終了 1: AT 実行中 2: ST 実行中 -1: 設定変更による中止 -2: 入力異常による中止 -3: タイムアウトによる中止 -4: 定数算出異常による中止	—
114	FFSF	設定グループ No. 57	設定グループ No. 57 の最初のパラメーター	—
115	1EXdJ	入力1の外乱判断点	-(入力1の入カスパン) ~+(入力1の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	-1
116	2EXdJ	入力2の外乱判断点	-(入力2の入カスパン) ~+(入力2の入カスパン) [小数点位置は、小数点位置設定による]	-1
117	MASP	設定グループ No. 58	設定グループ No. 58 の最初のパラメーター	—
118	MASJ	カスケード_積分時間 (マスター側)	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力: 1 (0.1, 0.01)~入力1の入カスパン (単位: °C [°F]) [小数点位置は、小数点位置設定による] 電圧 (V)/電流 (I) 入力: 入力2の入カスパンの 0.1~1000.0 %	TC/RTD 入力: 30 VI 入力: 3.0
119	MASd	カスケード_微分時間 (マスター側)	0~3600 秒、0.0~3600.0 秒または 0.00~360.00 秒 [小数点位置は、積分/微分時間の小数点位置設定による]	60
120	SLVP	カスケード_比例帯 (スレーブ側)	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力: 1 (0.1, 0.01)~入力2の入カスパン (単位: °C [°F]) [小数点位置は、小数点位置設定による] 電圧 (V)/電流 (I) 入力: 入力2の入カスパンの 0.1~1000.0 %	TC/RTD 入力: 30 VI 入力: 3.0
121	SLVJ	カスケード_積分時間 (スレーブ側)	カスケード_積分時間 (マスター側) と同じ	—
122	SLVd	カスケード_微分時間 (スレーブ側)	カスケード_微分時間 (マスター側) と同じ	—

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
123	1. dF	カスケード デジタルフィルター	0.0~100.0 秒 0.0: 機能なし	10.0
124	1. CSH	カスケード スケール上限	カスケード スケール下限 ~カスケード スケール上限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2のスケール上限
125	1. CCL	カスケード スケール下限	入力2のスケール下限 ~カスケード スケール上限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2のスケール下限
126	2PVLV	2入力連携 PV 切り換えレベル	入力1の入カスパン ~入力1の入カスパン [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力1の入カスパン
127	2PVFM	2入力連携 PV 切り換え時間	0.0~100.0 秒	0.0
128	1. oSP	設定グループ No. 59	設定グループ No. 59 の最初のパラメーター	—
129	2. oSP	設定グループ No. 60	設定グループ No. 60 の最初のパラメーター	—
130	1PHLD	入力1のピークホールドモニター	入力1の入カスパン -(入力1の入カスパンの5%) ~+(入力1の入カスパンの5%) [小数点位置は、小数点位置設定による]	—
131	1bHLD	入力1のボトムホールドモニター	入力1のピークホールドモニターと同じ	—
132	1HLDR	入力1のホールドリセット	Hold: ホールド rESET: リセット リセット後、自動的にホールド状態に戻ります	Hold
133	2PHLD	入力2のピークホールドモニター	入力2の入カスパン -(入力2の入カスパンの5%) ~+(入力2の入カスパンの5%) [小数点位置は、小数点位置設定による]	—
134	2bHLD	入力2のボトムホールドモニター	入力2のピークホールドモニターと同じ	—
135	2HLDR	入力2のホールドリセット	入力2のホールドリセットと同じ	—

H. エンジニアリングモード [Set] + <MODE (2秒)>

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
136	1. SPCH	ファンクションブロック No. 10	ファンクションブロック No. 10 の最初のパラメーター	—
137	ALC	ALM ランプ点灯条件	0: OFF +1: イベント 1 +2: イベント 2 +3: イベント 3 +4: イベント 4 +16: 入力1の入力異常上限 +32: 入力1の入力異常下限 +64: 入力2の入力異常上限 +128: 入力2の入力異常下限 複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	15
138	dSP	入力異常時のPV点滅表示	0: 測定値 (PV) 表示器に表示 1: 設定値 (SV) 表示器に表示 2: 操作出力値 (MV) 表示器に表示	1
139	1dSV	入力1のSV表示/非表示	0: 非表示 1: 入力1の設定値 (SV) 表示	1
140	2dSV	入力2のSV表示/非表示	0: 非表示 1: 入力2の設定値 (SV) 表示	1
141	1dSMV	入力1のMV表示/非表示	0: 非表示 1: 入力1の操作出力値 (MV) 表示 2: メモリーエリア運転経過時間表示 3: ソフトスタート時間表示	1
142	2dSMV	入力2のMV表示/非表示	0: 非表示 1: 入力2の操作出力値 (MV) 表示 2: メモリーエリア運転経過時間表示 3: ソフトスタート時間表示	1
143	dSMon	モニターモード非表示選択	0~31 0: 非表示なし +1: リモート設定入力値モニター +2: 操作出力値 (MV) モニター +4: 総合イベント状態 +8: メモリーエリア運転経過時間 +16: ソフトスタート時間 複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	0
144	dSMoD	運転切り換えモード非表示選択	0~63 0: 非表示なし +1: RUN/STOP 切り換え +2: オートチューニング (AT) +4: スタートアップチューニング (ST) +8: オート/マニュアル切り換え +16: リモート/ローカル切り換え (カスケードモード切り換え、2入力連携 PV 切り換え、2入力連携 PV 切り換え、2入力連携 PV 切り換え、2入力連携 PV 切り換え、2入力連携 PV 切り換え) +32: 制御エリア内部 (ローカル)/外部 (エクスターナル) 切り換え 複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	0

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
145	SEFJY	ファンクションブロック No. 11	ファンクションブロック No. 11 の最初のパラメーター	—
146	FNJY	データ確定方式選択	0: SET 方式 1: ダイレクト方式	0
147	FNJYP	FUNC キー割り付け	0: 機能なし 1: RUN/STOP 切り換え 2: オートチューニング (AT) (入力1、2 共通) 3: 入力1のオートチューニング (AT) 4: 入力2のオートチューニング (AT) 5: オート/マニュアル切り換え (入力1、2 共通) 6: 入力1のオート/マニュアル切り換え 7: 入力2のオート/マニュアル切り換え 8: リモート/ローカル切り換え (カスケードモード切り換え、2入力連携 PV 切り換え、2入力連携 PV 切り換え、2入力連携 PV 切り換え) 9: 制御エリア内部 (ローカル)/外部 (エクスターナル) 切り換え 10: インターロック解除 11: ホールドリセット (入力1、2 共通) 12: 入力1のホールドリセット 13: 入力2のホールドリセット 14: 設定データアンロック/ロック切り換え 15: エリアジャンプ 16: パラメーター設定モード循環表示	1
148	1. INP	ファンクションブロック No. 21	ファンクションブロック No. 21 の最初のパラメーター	—
149	1. LNF	入力1の表示単位	0: °C 1: °F	—
150	1. IPGdP	入力1の小数点位置	0: 小数点なし 1: 小数点以下 1 桁 2: 小数点以下 2 桁 3: 小数点以下 3 桁 4: 小数点以下 4 桁 熱電対 (TC) 入力: W5Re/W26Re、PR40-20: 0 (固定) 上記以外の熱電対: 0~1 測温抵抗体 (RTD) 入力: 0~2 電圧 (V)/電流 (I) 入力: 0~4 2入力連携制御時: 入力1と入力2の小数点位置設定で小さい方の値を採用	—
151	1. IPGSH	入力1の入カスパン	(入力1の入カスパン + 1 digit) ~(入力1の入カスパン最大値) [小数点位置は、小数点位置設定による]	—
152	1. IPGSL	入力1の入カスパン	入力1の制御動作に3~7 (MC-(V)COS(R)圧力制御) を設定した場合、本パラメーターの設定値は、入力1のバルブ係数 F で選択した圧力単位で入力してください。	—
153	1. Pdv	入力1の入力異常判断点	入力1の入力異常判断点 ~(入力1の入カスパンの5%) ~+(入力1の入カスパンの5%) [小数点位置は、小数点位置設定による]	—
154	1. PUN	入力1の入力異常判断点	入力1の入カスパン -(入力1の入カスパンの5%) ~+(入力1の入カスパンの5%) [小数点位置は、小数点位置設定による]	—
155	1. IFCdC	入力1の温度補償演算	0: 温度補償演算なし 1: 温度補償演算あり	1
156	1. boS	入力1のバーンアウト方向	0: アップスケール 1: ダウンスケール	0
157	1. SGR	入力1の開平演算	0: 開平演算なし 1: 開平演算あり	0
158	1. INV	入力1の反転入力	0: 反転しない 1: 反転する	0
159	2. INP	入力2の入力種類	0: 熱電対 K 1: 熱電対 J 2: 熱電対 R 3: 熱電対 S 4: 熱電対 B 5: 熱電対 E 6: 熱電対 N 7: 熱電対 T 8: 熱電対 W5Re/W26Re 9: 熱電対 PLII 10: 熱電対 U 11: 熱電対 L 12: 測温抵抗体 PR40-20 13: 測温抵抗体 Pt100 14: 測温抵抗体 JPt100 15: 電圧 DC 0~20 mA 16: 電圧 DC 0~5 V 17: 電圧 DC 1~5 V 18: 電圧 DC 0~1 V 19: 電圧 DC -10~+10 V 20: 電圧 DC -5~+5 V 21: 電圧 DC 0~100 mV 22: 電圧 DC 0~10 mV 23: 電圧 DC 0~10 mV 24: 電圧 DC 0~10 mV 入力2の用途選択が1の場合、または入力2の用途選択が2かつ制御動作が3~7の場合、15~24	—
160	2. LNF	入力2の表示単位	入力1の表示単位と同じ	—
161	2. PPGdP	入力2の小数点位置	0: 小数点なし 1: 小数点以下 1 桁 2: 小数点以下 2 桁 3: 小数点以下 3 桁 4: 小数点以下 4 桁 熱電対 (TC) 入力: W5Re/W26Re、PR40-20: 0 (固定) 上記以外の熱電対: 0~1 測温抵抗体 (RTD) 入力: 0~2 電圧 (V)/電流 (I) 入力: 0~4 2入力連携制御時: 入力1と入力2の小数点位置設定で小さい方の値を採用	—
162	2. PPGSH	入力2の入カスパン	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力および電圧 (V)/電流 (I) 入力 (リモート設定入力以外の場合): (入力2の入カスパン + 1 digit) ~(入力2の入カスパン最大値) 電圧 (V)/電流 (I) 入力 (リモート設定入力の場合): (入力2の入カスパン + 1 digit) ~(入力2の入カスパン最大値) [小数点位置は、小数点位置設定による]	—
163	2. PPGSL	入力2の入カスパン	入力2の制御動作に3~7 (MC-(V)COS(R)圧力制御) を設定した場合、本パラメーターの設定値は、入力2のバルブ係数 F で選択した圧力単位で入力してください。	—
164	2. Pdv	入力2の入力異常判断点	入力2の入力異常判断点 ~(入力2の入カスパンの5%) ~+(入力2の入カスパンの5%) [小数点位置は、小数点位置設定による]	—

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
165	2. PUN	入力2の入力異常判断点	入力2の入カスパン -(入力2の入カスパンの5%) ~+(入力2の入カスパンの5%) [小数点位置は、小数点位置設定による]	—
166	2. IFCdC	入力2の温度補償演算	0: 温度補償演算なし 1: 温度補償演算あり	1
167	2. boS	入力2のバーンアウト方向	0: アップスケール 1: ダウンスケール	0
168	2. SGR	入力2の開平演算	0: 開平演算なし 1: 開平演算あり	0
169	2. INV	入力2の反転入力	0: 反転しない 1: 反転する	0
170	d1 SL1	D11 機能選択	0: 機能なし 1: RUN/STOP 切り換え 2: オート/マニュアル切り換え (入力1、2 共通) 3: 入力1のオート/マニュアル切り換え 4: 入力2のオート/マニュアル切り換え 5: リモート/ローカル切り換え (カスケードモード切り換え、2入力連携 PV 切り換え、2入力連携 PV 切り換え) 6: インターロック解除 7: ホールドリセット (入力1、2 共通) 8: 入力1のホールドリセット 9: 入力2のホールドリセット 10: オートチューニング (AT) (入力1、2 共通) 11: 入力1のオートチューニング (AT) 12: 入力2のオートチューニング (AT) 13: 設定データアンロック/ロック切り換え 14: 正動作/逆動作切り換え 15: エリア切り換え (2点 SET 信号なし) 16: エリア切り換え (8点 SET 信号なし) 17: エリア切り換え (8点 SET 信号あり) 18: エリア切り換え (16点 SET 信号あり) 19: エリア切り換え (16点 SET 信号あり) 20: エリアジャンプ	0
171	d1 SL2	D12 機能選択	0~14 D11 機能選択の設定 0~14 と同じ	—
172	d1 SL3	D13 機能選択	0~14 D11 機能選択の設定 0~14 と同じ	—
173	d1 SL4	D14 機能選択	0~14 D11 機能選択の設定 0~14 と同じ	—
174	d1 SL5	D15 機能選択	0~14 D11 機能選択の設定 0~14 と同じ	—
175	d1 SL6	D16 機能選択	0~14 D11 機能選択の設定 0~14 と同じ	—
176	d1 INV	D1 論理反転	0: 論理反転なし +1: RUN/STOP 切り換え +2: オート/マニュアル切り換え +4: リモート/ローカル切り換え (カスケードモード切り換え、2入力連携 PV 切り換え、2入力連携 PV 切り換え) +8: 設定データアンロック/ロック切り換え +16: 正動作/逆動作切り換え 複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	0
177	d1 FIM	エリア切り換え時間 (SET 信号なし)	1~5 秒	2
178	oSL1	設定グループ No. 30	設定グループ No. 30 の最初のパラメーター	—
179	oSL2	OUT2 機能選択	OUT1 機能選択と同じ	4
180	oSL3	OUT3 機能選択	OUT1 機能選択と同じ	4
181	oLG1	OUT1 論理演算選択	0~255 0: OFF +1: イベント 1 +2: イベント 2 +4: イベント 3 +8: イベント 4 +16: 入力1の入力異常上限 +32: 入力1の入力異常下限 +64: 入力2の入力異常上限 +128: 入力2の入力異常下限 複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	0
182	oLG2	OUT2 論理演算選択	OUT1 論理演算選択と同じ	0
183	oLG3	OUT3 論理演算選択	OUT1 論理演算選択と同じ	0
184	EXC	励磁/非励磁選択	0~127 +1: OUT1 非励磁 +2: OUT2 非励磁 +4: OUT3 非励磁 +8: DO1 非励磁 +16: DO2 非励磁 +32: DO3 非励磁 +64: DO4 非励磁 複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	0
185	1. LS	インターロック	0~255 0: 不使用 +1: イベント 1 +2: イベント 2 +4: イベント 3 +8: イベント 4 +16: 入力1の入力異常上限 +32: 入力1の入力異常下限 +64: 入力2の入力異常上限 +128: 入力2の入力異常下限 複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	0
186	SS	STOP 時の出力動作	0~7 0: OFF +1: 論理演算出力 動作継続 +2: 伝送出力 動作継続 +4: 計器状態出力 動作継続 複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	0
187	MM5	MAN 時のイベント動作	0: する 1: しない	0
188	oUF1	OUT1 の種類選択	0: 電流連続出力 (4~20 mA) 1: 電流連続出力 (0~20 mA)	0
189	oUF2	OUT2 の種類選択	0: 電流連続出力 (4~20 mA) 1: 電流連続出力 (0~20 mA)	0
190	UNI o	ユニバーサル出力の種類選択 (OUT3)	0: 電圧/パルス出力 1: 電流出力 (4~20 mA) 2: 電流出力 (0~20 mA)	1
191	2. Pdv	入力2の入力異常判断点	入力2の入力異常判断点 ~(入力2の入カスパンの5%) ~+(入力2の入カスパンの5%) [小数点位置は、小数点位置設定による]	—

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
191	Fn31	ファンクションブロック No. 31	ファンクションブロック No. 31の最初のパラメーター	—
192	RHS1	伝送出力1種類	0: 伝送出力なし 1: 入力1の測定値 (PV) 2: 入力1のローカルSV値 3: 入力1のSVモニター値 4: 入力1の偏差値 5: 入力1の操作出力値 [加熱側] 6: 入力1の操作出力値 [冷却側] 7: 入力2の測定値 (PV) 8: 入力2のローカルSV値 9: 入力2のSVモニター値 10: 入力2の偏差値 11: 入力2の操作出力値 12: リモート設定入力値 13: 差温入力値 (PV)	0
193	RHS1	伝送出力1スケール上限	伝送出力なし、入力1の測定値 (PV)、入力1のローカルSV値、入力1のSVモニター値、リモート設定入力値の場合 ~入力1の入力レンジ上限 [小數点位置は、小數点位置設定による] 入力1の偏差値の場合 -(入力1の入力スパン) ~+(入力1の入力スパン) [小數点位置は、小數点位置設定による] 入力2の測定値 (PV)、入力2のローカルSV値、入力2のSVモニター値の場合 ~入力2の入力レンジ上限 [小數点位置は、小數点位置設定による] 入力2の偏差値の場合 -(入力2の入力スパン) ~+(入力2の入力スパン) [小數点位置は、小數点位置設定による] 差温入力の測定値 (PV) の場合 -(入力1の入力スパン) ~+(入力2の入力スパン) [小數点位置は、小數点位置設定による]	100.0 100
194	RHS2	伝送出力2種類	0: 伝送出力なし、入力1の測定値 (PV)、入力1のローカルSV値、入力1のSVモニター値、リモート設定入力値 1: 入力1の偏差値 2: 入力2の測定値 (PV)、入力2のローカルSV値、入力2のSVモニター値、リモート設定入力値 3: 差温入力の測定値 (PV)	0
195	RHS2	伝送出力2スケール上限	データ範囲は、伝送出力1スケール上限と同じ	—
196	RHS2	伝送出力2スケール下限	データ範囲は、伝送出力1スケール下限と同じ	—
197	RHS3	伝送出力3種類	0: 伝送出力なし 1: 入力1の測定値 (PV) 2: 入力1のローカルSV値 3: 入力1のSVモニター値 4: 入力1の偏差値 5: 入力1の操作出力値 [加熱側] 6: 入力1の操作出力値 [冷却側] 7: 入力2の測定値 (PV) 8: 入力2のローカルSV値 9: 入力2のSVモニター値 10: 入力2の偏差値 11: 入力2の操作出力値 12: リモート設定入力値 13: 差温入力値 (PV)	0
198	RHS3	伝送出力3スケール上限	データ範囲は、伝送出力1スケール上限と同じ	—
199	RHS3	伝送出力3スケール下限	データ範囲は、伝送出力1スケール下限と同じ	—
200	doSL1	DO1機能選択	0: 割り付けなし 1: 論理演算出力 (イベント、入力異常) 2: RUN状態出力 3: 入力1のマニュアルモード状態出力 4: 入力2のマニュアルモード状態出力 5: リモートモード状態出力 (カスケード制御状態出力、差温制御状態出力) 6: 入力1のオートチューニング (AT) 状態出力 7: 入力2のオートチューニング (AT) 状態出力 8: 入力1の設定値変化中出力 9: 入力2の設定値変化中出力 10: 遠征監視結果出力 11: FAIL出力 12: 入力1の制御異常* 13: 入力2の制御異常* *12と13は、MC-COS(R)/MC-VCOS(R)による圧力制御とのみ選択可能	0
201	doSL2	DO2機能選択	DO1機能選択と同じ	0
202	doSL3	DO3機能選択	DO1機能選択と同じ	0
203	doSL4	DO4機能選択	DO1機能選択と同じ	0
204	doLG1	DO1論理演算選択	0~255 0: OFF +1: イベント1 +2: イベント2 +4: イベント3 +8: イベント4 +16: 入力1の入力異常上限 +32: 入力1の入力異常下限 +64: 入力2の入力異常上限 +128: 入力2の入力異常下限 複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	0
205	doLG2	DO2論理演算選択	DO1論理演算選択と同じ	0
206	doLG3	DO3論理演算選択	DO1論理演算選択と同じ	0
207	doLG4	DO4論理演算選択	DO1論理演算選択と同じ	0
208	EV1	イベント1割り付け	1: 入力1用 2: 入力2用 3: 差温入力用	1
209	ES1	イベント1種類	0: イベント機能なし 1: 上限偏差 (SVモニター値使用)* 2: 下限偏差 (SVモニター値使用)* 3: 上下限偏差 (SVモニター値使用)* 4: 範囲内偏差 (SVモニター値使用)* 5: 上下限偏差 (SVモニター値使用) [上限: 下限個別設定]* 6: 範囲内偏差 (SVモニター値使用) [上限: 下限個別設定]* 7: 上限設定値 (SVモニター値使用) 8: 下限設定値 (SVモニター値使用) 9: 上限入力値 10: 下限入力値 11: 上限偏差 (ローカルSV値使用)* 12: 下限偏差 (ローカルSV値使用)* 13: 上下限偏差 (ローカルSV値使用)* 14: 範囲内偏差 (ローカルSV値使用)* 15: 上下限偏差 (ローカルSV値使用) [上限: 下限個別設定]* 16: 範囲内偏差 (ローカルSV値使用) [上限: 下限個別設定]* 17: 上限設定値 (ローカルSV値使用) 18: 下限設定値 (ローカルSV値使用) 19: 上限操作出力値 [加熱側]* 20: 下限操作出力値 [加熱側]* 21: 上限操作出力値 [冷却側]* 22: 下限操作出力値 [冷却側]* 23: 上下限入力値 24: 範囲内入力値 [上限: 下限個別設定]* *特機動作および再待機動作の選択が可能です。 *特機動作の選択が可能です。	0

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
210	EHo1	イベント1待機動作	0: 待機動作なし 1: 再待機動作あり 2: 再待機動作あり 待機動作および再待機動作の選択が可能です。イベント種類に対して、待機動作および再待機動作を設定しても無視されます。	0
211	EH1	イベント1動作すきま	偏差、入力値、設定値: *イベント割り付けが入力1または差温入力 0~入力1の入力スパン (2入力連携制御時: 0~連携入力の入力スパン) *イベント割り付けが入力2 0~入力2の入力スパン [小數点位置は、小數点位置設定による] 操作出力値: 0.0~110.0%	偏差、入力値、設定値: TCRTD入力: 2 電流/電圧入力: 0.2%
212	EV1	イベント1タイマー	0.0~600.0秒	0.0
213	EV2	ファンクションブロック No. 42の最初のパラメーター	ファンクションブロック No. 42の最初のパラメーター	—
214	ES2	イベント2割り付け	イベント1割り付けと同じ	—
215	EHo2	イベント2待機動作	イベント1待機動作と同じ	—
216	EH2	イベント2動作すきま	イベント1動作すきまと同じ	—
217	EV2	イベント2タイマー	イベント1タイマーと同じ	—
218	EV3	イベント3割り付け	イベント1割り付けと同じ	—
219	ES3	イベント3種類	イベント1種類と同じ	—
220	EHo3	イベント3待機動作	イベント1待機動作と同じ	—
221	EH3	イベント3動作すきま	イベント1動作すきまと同じ	—
222	EV3	イベント3タイマー	イベント1タイマーと同じ	—
223	EV4	ファンクションブロック No. 44の最初のパラメーター	ファンクションブロック No. 44の最初のパラメーター	—
224	ES4	イベント4割り付け	イベント1割り付けと同じ	—
225	EHo4	イベント4待機動作	イベント1待機動作と同じ	—
226	EH4	イベント4動作すきま	イベント1動作すきまと同じ	—
227	EV4	イベント4タイマー	イベント1タイマーと同じ	—
228	Pd	ファンクションブロック No. 50の最初のパラメーター	ファンクションブロック No. 50の最初のパラメーター	—
229	rUnSL	復電時のRUN/STOP選択	0: STOP 1: RUN 2: 電源断直前状態で運転	0
230	MANSL	復電時とRUN切り換え時のMANUAL/AUTO選択	0: MAN 1: AUTO 2: 電源断直前状態で運転	0
231	REMSL	復電時とRUN切り換え時のLOC/REM選択	0: LOCAL 1: REMOTE 2: 電源断直前状態で運転	0
232	EXSL	復電時とRUN切り換え時のLOC/EXT選択	0: LOC 1: EXT 2: 電源断直前状態で運転	0
233	MYSL	復電時とRUN切り換え時の出力値選択	0: 0% 1: 出力リミッター下限値 2: 電源断直前状態で運転	0
234	MYFS	マニュアル操作出力値選択	0: 直前の操作出力値 (パララシレス・オンプレ機能) 1: マニュアル操作出力値	0
235	FRK1	SVトラッキング	0~3 0: SVトラッキングなし +1: リモート/ローカル切り換え時のSVトラッキング +2: オート/マニュアル切り換え時のSVトラッキング *カスケードモード切り換え、2ループ制御/差温制御切り換えを含む複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	1
236	IdpP	積分/微分時間	0: 小數点なし 1: 小數点以下1桁 2: 小數点以下2桁	0
237	SFS	スタートアップチューニング (ST) 起動条件	0: 電源ON時、STOP-RUN切り換え時または設定値 (SV) 変更時に起動 1: 電源ON時、またはSTOP-RUN切り換え時 2: 設定値 (SV) 変更時に起動	0
238	l.oS	ファンクションブロック No. 51の最初のパラメーター	ファンクションブロック No. 51の最初のパラメーター	—
239	l.oRU	入力1の出力変化率リミッター上昇 [加熱側]	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
240	l.oRD	入力1の出力変化率リミッター下降 [加熱側]	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
241	l.oRVE	入力1の入力異常上限動作選択	0: 制御継続 (現状の出力) 1: 運転モードをマニュアルモードに切り換えて入力異常時の操作出力 2: オートモードのままでも入力異常時の操作出力、異常から復帰したとき、元の制御に戻る	2
242	l.oRUNE	入力1の入力異常下限動作選択	入力1の入力異常上限動作選択と同じ	2
243	l.oPSM	入力1の入力異常時操作出力値	加熱冷却PID制御の場合: -105.0~+105.0% その他制御の場合: -5.0~+105.0%	加熱冷却PID制御: 0.0 その他: -5.0
244	l.oRMV	入力1のSTOP時操作出力値 [加熱側]	-5.0~+105.0%	-5.0
245	l.oPdR	入力1のスタート判断点	0~入力1の入力スパン (2入力連携制御時: 0~連携入力の入力スパン) 0のとき、ホット/コールドスタートの動作に従う [小數点位置は、小數点位置設定による]	0
246	l.oLPI d	入力1のレベルPID動作選択	0: モリエリア番号による切り換え 1: 設定値 (SV) による切り換え (レベルPID動作) 2: 測定値 (PV) による切り換え (レベルPID動作)	0
247	l.oLHS	入力1のレベルPID動作すきま	0~入力1の入力スパン (2入力連携制御時: 0~連携入力の入力スパン) [小數点位置は、小數点位置設定による]	TCRTD入力: 2 V/I入力: 0.2

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
248	2.oS	ファンクションブロック No. 52の最初のパラメーター	ファンクションブロック No. 52の最初のパラメーター	—
249	2.oRU	入力2の出力変化率リミッター上昇	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
250	2.oRD	入力2の出力変化率リミッター下降	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
251	2.oRVE	入力2の入力異常上限動作選択	入力1の入力異常上限動作選択と同じ	2
252	2.oRUNE	入力2の入力異常下限動作選択	入力1の入力異常上限動作選択と同じ	2
253	2.oPSM	入力2の入力異常時操作出力値	-5.0~+105.0%	-5.0
254	2.oRMV	入力2のSTOP時操作出力値	-5.0~+105.0%	-5.0
255	2.oPdR	入力2のスタート判断点	0~入力2の入力スパン 0のとき、ホット/コールドスタートの動作に従う [小數点位置は、小數点位置設定による]	0
256	2.oLPI d	入力2のレベルPID動作選択	0: モリエリア番号による切り換え (レベルPID動作) 2: 測定値 (PV) による切り換え (レベルPID動作)	0
257	2.oLHS	入力2のレベルPID動作すきま	0~入力2の入力スパン [小數点位置は、小數点位置設定による]	TCRTD入力: 2 V/I入力: 0.2
258	l.oA	入力1のバルブ係数A	-1999~9999	0
259	l.oB	入力1のバルブ係数b	-1999~9999	0
260	l.oC	入力1のバルブ係数C	-1999~9999	0
261	l.oD	入力1のバルブ係数d	-1999~9999	0
262	l.oE	入力1のバルブ係数E	-1999~9999	0
263	l.oF	入力1のバルブ係数F	入力1の制御動作が3~6または8の場合: 0: kg/cm ² G 1: barg 2: psig 3: kPaG 4: MPaG 入力1の制御動作が7または9の場合: 10: mmHg/Torr 11: mbar 12: inHg 13: psi 14: kPa ※圧力値を入力する他のパラメーターの圧力単位はバルブ係数Fで決まります。バルブ係数FにFと記載のF値と異なる圧力単位で扱いたい場合、本機の詳細取扱説明書を参照してバルブ係数の換算を行ってください。 [注1: バルブ係数Fについては、参照ください。]	注文時に指定した型式コードに従う
264	l.oGSL	入力1のバルブ係数Fの圧力基準	0: 大気圧基準 1: 絶対圧基準	注文時に指定した型式コードに従う
265	l.oVSL	入力1の制御バルブ選択	0: MC-VCOS(R) 1: PC-VCOS(R)	0
266	l.oPrL	入力1の圧力(温度)リミッター	入力1の制御動作が3~7の場合: 入力1のレンジ下限~入力1のレンジ上限 入力1の制御動作が8の場合: バルブ係数 係数F=0 (kg/cm ² G): 0.00~99.99 係数F=1 (barg): 0.00~99.99 係数F=2 (psig): 0.0~999.9 係数F=3 (kPaG): 0~9999 係数F=4 (MPaG): 0.000~9.999	入力1の制御動作が7以外の場合: 0 入力1の制御動作が7の場合: 入力レンジ上限
267	l.oPrUN	入力1の温度リミッター	0: °C 1: °F	注文時に指定した型式コードに従う
268	l.oob	入力1の回帰式バイアス	-50.0~+50.0%	0.0
269	l.oEMF	入力1の応答遅さ自己学習選択	0: する 1: しない *出荷値でご使用ください	0
282	l.oPc1	入力1の修正動作回数	0~99 (99: 無限回)	99
283	l.oPc2	入力1の修正動作繰り返し	0: する 1: しない	1
284	l.oPc3	入力1のランプ制御時修正動作	0: する 1: しない	0
285	l.oALB	入力1の修正動作量下幅	0.0~105.0%	20.0
286	l.oALB	入力1の修正動作量上幅	0.0~105.0%	20.0
287	2.oA	ファンクションブロック No. 54の最初のパラメーター	ファンクションブロック No. 54の最初のパラメーター	—
288	2.oB	入力2のバルブ係数A	入力1のバルブ係数Aと同じ	—
289	2.oC	入力2のバルブ係数b	入力1のバルブ係数bと同じ	—
290	2.oD	入力2のバルブ係数C	入力1のバルブ係数Cと同じ	—
291	2.oE	入力2のバルブ係数d	入力1のバルブ係数dと同じ	—
292	2.oF	入力2のバルブ係数E	入力1のバルブ係数Eと同じ	—
293	2.oGSL	入力2のバルブ係数Fの圧力基準	入力1のバルブ係数Fと同じ [注1: バルブ係数Fについては、参照ください。]	—
294	2.oVSL	入力2の制御バルブ選択	入力1の制御バルブ選択と同じ	—

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
295	2.oPrL	入力2の圧力(温度)リミッター	入力1の圧力(温度)リミッターと同じ	—
296	2.oPrUN	入力2の温度リミッター	入力1の温度リミッターの単位と同じ	—
297	2.oob	入力2の回帰式バイアス	入力1の回帰式バイアスと同じ	—
298	2.oEMF	入力2の応答遅さ自己学習選択	入力1の応答遅さ自己学習選択と同じ	—
311	2.oPc1	入力2の修正動作回数	入力1の修正動作回数と同じ	—
312	2.oPc2	入力2の修正動作繰り返し	入力1の修正動作繰り返しと同じ	—
313	2.oPc3	入力2のランプ制御時修正動作	入力1のランプ制御時修正動作と同じ	—
314	2.oALB	入力2の修正動作量下幅	入力1の修正動作量下幅と同じ	—
315	2.oALB	入力2の修正動作量上幅	入力1の修正動作量上幅と同じ	—
316	l.oRUC	ファンクションブロック No. 56の最初のパラメーター	ファンクションブロック No. 56の最初のパラメーター	—
317	l.oRDC	出力変化率リミッター上昇 [冷却側]	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
318	l.oRDC	出力変化率リミッター下降 [冷却側]	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
319	l.oRMC	アンダーシュート抑制係数	-5.0~+105.0%	-5.0
320	dbPR	オーバーラップポイントバンド基準値	0.000~1.000	1.000
321	bFMSP	オーバーラップポイントバンド基準値	0.0~1.0	0.0
322	2.oPV	ファンクションブロック No. 57の最初のパラメーター	ファンクションブロック No. 57の最初のパラメーター	—
323	MASAR	カスケード-ATモード (マスター側)	0: 簡易調整モード (AT 1回) 1: 負荷率調整モード (AT 2回)	TCRTD入力: 0 V/I入力: 1
324	SLVAR	カスケード-ATモード (スレーブ側)	0: 簡易調整モード (AT 1回) 1: 負荷率調整モード (AT 2回)	TCRTD入力: 0 V/I入力: 1
325	2.oPVG	2入力連携PV切り換えトリガー選択	0: レベルで切り換え 1: 番号で切り換え (キー、DI、通信)	0
326	l.oCR	入力2の制御異常警報設定値	0~入力1の入力スパン 0: 機能なし [小數点位置は、小數点位置設定による]	TCRTD入力: 10 V/I入力: スパンの5%
327	l.oMPS	ファンクションブロック No. 60の最初のパラメーター	ファンクションブロック No. 60の最初のパラメーター	—
328	l.oAdd	通信プロトコル選択	0: メーカー標準通信 1: MODBUS (データ転送順序: 上位ワード~下位ワード) 2: MODBUS (データ転送順序: 下位ワード~上位ワード) 3: PLC通信 (三菱電機製 PLC 通信プロトコル QnA互換 3C フレーム形式 4)	0
329	bPS	デバイスアドレス	0: 2400 bps 1: 4800 bps 2: 9600 bps 3: 19200 bps 4: 38400 bps 5: 57600 bps	メーカー標準通信: 0~99 MODBUS: 1~99 PLC通信: 0~30
330	bIF	通信速度	0: 2400 bps 1: 4800 bps 2: 9600 bps 3: 19200 bps 4: 38400 bps 5: 57600 bps	0
331	l.oINr	データビット構成	0~110F データビット構成表参照	0
332	l.oMFM	インターバル時間	0~250 ms	10
333	l.oMFM	通信応答モニター	0~110F 一位の桁: 0: 通信応答正常 1: オーバーランエラー 2: パリティエラー 4: フレームエラー 8: 受信バッファオーバーフロー 複数の状態が発生している場合は、それぞれの値が加算されます。ただし、16進数表示 (0~F) になります。 十位の桁: 「0」固定 百位の桁: 受信状態モニター* 千位の桁: 送信状態モニター* * 番号が送信値に送信されるたびに、0と1を交互に表示します。 万位の桁: 消灯	—

表2 データビット構成表

設定値	データビット	パリティビット	ストップビット
0	8	なし	1
1	8	なし	2
2	8	偶数	1
3	8	偶数	2
4	8	奇数	1
5	8	奇数	2
6	7	なし	1
7	7	なし	2
8	7	偶数	1
9	7	偶数	2
10	7	奇数	1
11	7	奇数	2

■: MODBUS時は設定不可

注1: バルブ係数Fについて
圧力値を入力する他のパラメーターの圧力単位はバルブ係数Fで決まります。測定入力レンジ・目標設定値・警報設定値などの圧力単位で入力するパラメーターは、バルブ係数Fで設定した圧力単位で入力しなければなりません。不一致の場合、正常に動作しません。バルブ係数FにFと記載のF値と異なる圧力単位で扱いたい場合、本機の詳細取扱説明書「パラメーター・機能編」の「F.8 MC-COS/MC-VCOS」と組み合わせて使用したいの「バルブ係数の換算」を参照して、バルブ係数の換算を行い、バルブ係数A,C,Eと共にFを変更してください。

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
—	Fn62	ファンクションブロック No. 62	ファンクションブロック No. 62 の最初のパラメーター	—
333	MPREG	レジスタ種類	0: D レジスタ (データレジスタ) 1: R レジスタ (ファイルレジスタ) 2: W レジスタ (リンクレジスタ) 3: ZR レジスタ (R レジスタの 32767 を超えたときの連番指定方法)	0
334	MPSRH	レジスタ開始番号 (上位 4 ビット)	0~15	0
335	MP SRL	レジスタ開始番号 (下位 16 ビット)	0~65535	1000
336	MPMod	モニター項目 レジスタ バイアス	12~65535	12
337	MP Sfb	設定項目 レジスタ バイアス	0~65535	0
338	MP LFM	計器リンク認識時間	0~255 秒	5
339	MP FMO	PLC 応答待ち時間	0~3000 ms	255
340	MP SGM	PLC 通信開始時間	1~255 秒	5
341	MP SLb	スレーブレジスタ バイアス	0~65535	80
342	MP MRd	計器認識台数	0~30	8

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
—	Fn70	ファンクションブロック No. 70 の最初のパラメーター	—	—
343	SVRS	ソフトスタート/設定変化率リミッター選択	0: ソフトスタート 1: 設定変化率リミッター	0
344	SVFS	ソフトスタート時間選択	0: 分秒 1: 時分	0
345	SVSS	ソフトスタート開始選択	0: 測定値(PV)スタート 1: ゼロ点スタート	0
346	SVRF	設定変化率リミッター単位時間	1~3600 秒	60
347	SFDp	ソーク時間単位	0: 0 時間 00 分~99 時間 59 分 1: 0 分 00 秒~199 分 59 秒 2: 0 時間 00 分 00 秒~9 時間 59 分 59 秒	1

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
—	Fn71	ファンクションブロック No. 71 の最初のパラメーター	—	—
348	1. SLH	入力 1 の設定リミッター 上限	入力 1 の設定リミッター下限 ~ 入力 1 の入力レンジ上限 2 入力連携制御時: 入力 1 の設定リミッター下限 ~ 連携入力の入力レンジ上限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力 1 の入力レンジ 上限
349	1. SLL	入力 1 の設定リミッター 下限	入力 1 の入力レンジ下限 ~ 入力 1 の設定リミッター上限 2 入力連携制御時: 連携入力の入力レンジ下限 ~ 入力 1 の設定リミッター上限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力 1 の入力レンジ 下限

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
—	Fn72	ファンクションブロック No. 72 の最初のパラメーター	—	—
350	2. SLH	入力 2 の設定リミッター 上限	入力 2 の設定リミッター下限 ~ 入力 2 の入力レンジ上限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力 2 の入力レンジ 上限
351	2. SLL	入力 2 の設定リミッター 下限	入力 2 の入力レンジ下限 ~ 入力 2 の設定リミッター上限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力 2 の入力レンジ 下限

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
—	Fn91	ファンクションブロック No. 91 の最初のパラメーター	—	—
—	dEF	初期化	1225: 初期化実行 上記以外: 設定値保持 初期化実行後、自動的に 0 に戻ります	0
—	Wf	積算稼働時間	0~65535 時間	—
—	TCU	周囲温度ピークホールドモニター	-120.0~+120.0 °C	—
—	ROM	ROM パージョン表示	搭載している ROM パージョンを表示	—
—	SC-F7	出荷コードモニター	出荷コードを表示 アップ/ダウンキーで表示のスクロール (左右) が可能	—
—	00000	計器番号モニター	計器番号を表示	—

パラメーターセレクト機能の使用法

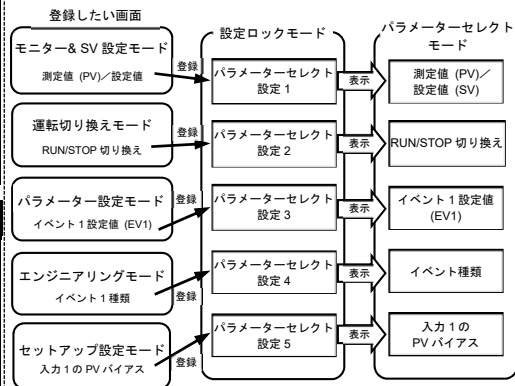
本機器には、見たい画面だけを 1 つに集めて表示する「パラメーターセレクト機能」があります。
任意の画面を登録することで、1 か所に最大 16 画面まで集めることができます。

■ パラメーターセレクト機能の概要

必要な画面だけを登録して、1 つのモードに表示するのがパラメーターセレクト機能です。設定ロックモードのパラメーターセレクト設定で登録した画面は、パラメーターセレクトモードに表示されます。パラメーターセレクトモードに表示される画面は、元のモードで表示している画面と同じ操作ができます。

パラメーターセレクト機能では、設定ロックモードの画面とエンジニアリングモードのファンクションブロック No. 91 の画面は登録できません。

[パラメーターセレクト機能のイメージ]



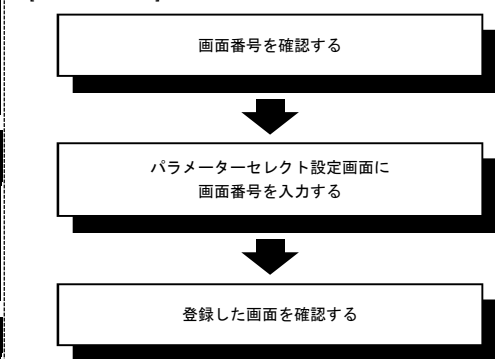
■ 画面の登録方法

画面の登録には 2 つの方法があります

● 画面番号入力方式

設定ロックモードにあるパラメーターセレクト設定画面に、あらかじめ割り付けられている画面番号を入力すると、パラメーターセレクトモードに登録した画面が表示されます。パラメーターセレクト設定画面は 1 から 16 まであるので、任意に設定可能です。登録していない画面があっても、パラメーターセレクトモードでは括弧で表示します。

[画面登録手順]



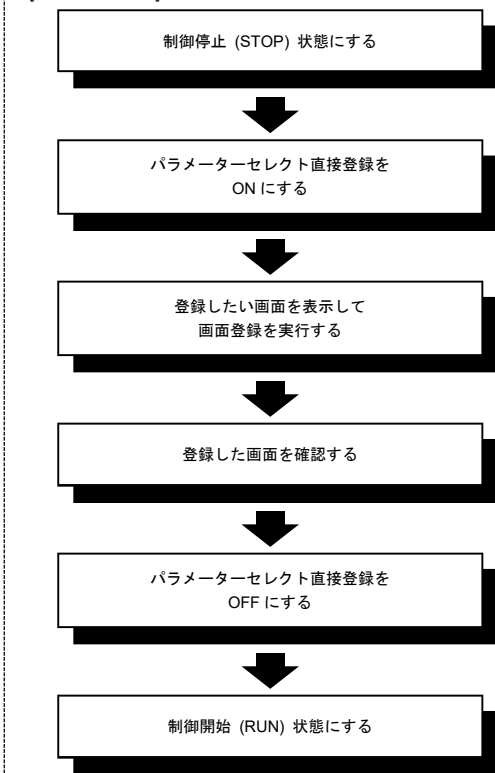
● 直接登録方式

設定ロックモードにある「パラメーターセレクト直接登録」画面で、直接登録方式を有効にした後、登録したい画面を表示して **MODE** キーと **ENTER** キーを両方押しすると、パラメーターセレクト設定画面に登録されます。

直接登録する場合は、制御停止 (STOP) 状態にする必要があります。

「パラメーターセレクト直接登録」画面で、直接登録方式を有効にすると、設定ロックモード以外は強制的に設定データロック状態になります。

[画面登録手順]



直接登録方式の設定例については、別冊の **SC-F71 取扱説明書 [パラメーター機能編] (081-65710-0)** を参照してください。

[画面番号入力方式の登録例]

以下の画面を、画面番号入力方式で登録します。

- 入力 1 の測定値 (PV)/入力 1 の設定値 (SV)
- RUN/STOP 切り換え
- イベント 1 設定値 (EV1)

登録先は、パラメーターセレクト設定 1~3 とします。

- 登録する画面番号を調べます。画面番号はパラメーター一覧 (本書) の表に記載されています

No.	記号	名称	表示またはデータ範囲	出荷値
15	R/S	RUN/STOP 切り換え	rUN: RUN (制御開始) SroP: STOP (制御停止)	SroP

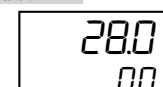
各画面の画面番号

- 入力 1 の測定値 (PV)/入力 1 の設定値 (SV): 1
- RUN/STOP 切り換え: 15
- イベント 1 設定値 (EV1): 27

- 設定ロックモードのパラメーターセレクト設定画面に画面番号を設定します。

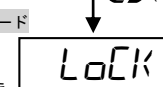
A. モニター & SV 設定モード

入力 1 の測定値 (PV)/入力 1 の設定値 (SV)



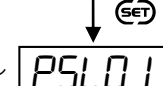
SET (4 秒以上)*

D. 設定ロックモード
設定データアンロック / ロック切り換え



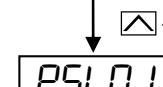
SET 4 回または 5 回押す

パラメーターセレクト設定 1

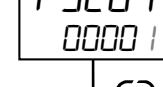


MODE 1 回押す

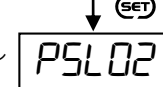
パラメーターセレクト設定 2



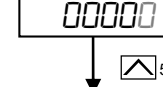
パラメーターセレクト設定 3



パラメーターセレクト設定 4



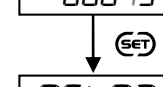
A. モニター & SV 設定モード
入力 1 の測定値 (PV)/入力 1 の設定値 (SV)



B. パラメーターセレクトモード
パラメーターセレクトモードの先頭画面



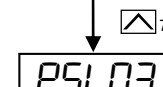
RUN/STOP 切り換え



イベント 1 設定値 (EV1)



入力 1 の測定値 (PV)/入力 1 の設定値 (SV)

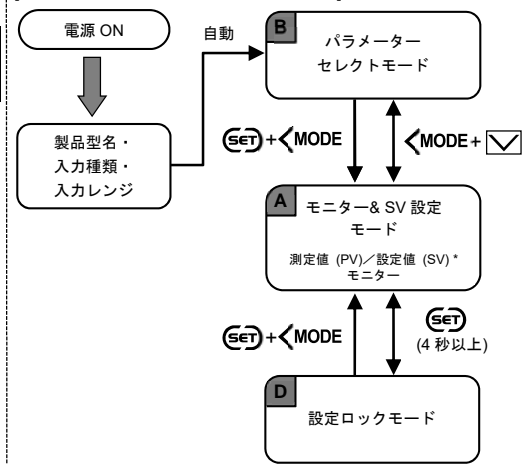


ブラインド機能について

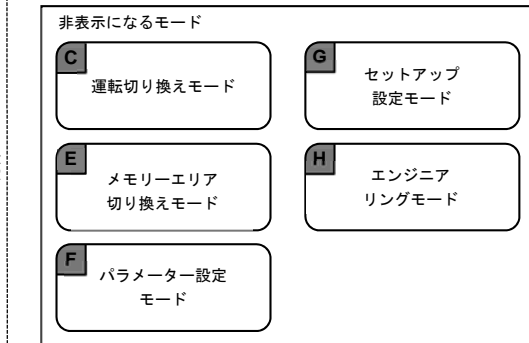
ブラインド機能を使用すると、パラメーターセレクトモード、設定ロックモード、および測定値 (PV)/設定値 (SV) モニター以外の画面をすべて非表示にできます。
ブラインド機能は設定ロックモードで設定できます。

ブラインド機能を有効にすると、電源 ON 時、製品型名・入力種類・入力レンジを表示した後、最初にパラメーターセレクトモードを表示します。
したがって、パラメーターセレクトモードに必要な画面を集めておけば、他のモードへ切り換える必要がなくなります。

[ブラインド機能有効時のモード遷移]



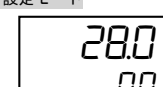
* 測定値 (PV)/設定値 (SV) モニターには、設定値 (SV) 設定およびマニュアル操作出力値設定を含みます。



■ ブラインド機能の設定

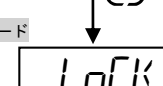
A. モニター & SV 設定モード

入力 1 の測定値 (PV)/入力 1 の設定値 (SV)

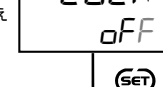


SET (4 秒以上)*

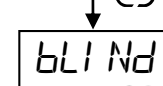
D. 設定ロックモード
設定データアンロック / ロック切り換え



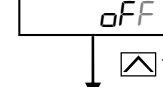
ブラインド機能選択



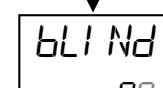
MODE 1 回押す



A. モニター & SV 設定モード
入力 1 の測定値 (PV)/入力 1 の設定値 (SV)

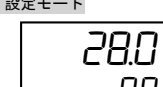


B. パラメーターセレクトモード
パラメーターセレクトモードの先頭画面

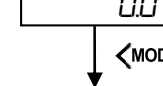


例: イベント 1 設定値 (EV1) の場合

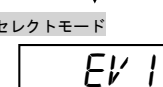
入力 1 の測定値 (PV)/入力 1 の設定値 (SV)



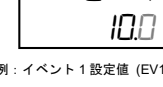
B. パラメーターセレクトモード
パラメーターセレクトモードの先頭画面



入力 1 の測定値 (PV)/入力 1 の設定値 (SV)



RUN/STOP 切り換え



イベント 1 設定値 (EV1)



入力 1 の測定値 (PV)/入力 1 の設定値 (SV)



登録画面の確認終了
パラメーターセレクトモードの先頭画面に戻ります。



アフターサービス網

アフターサービスのご用命は、最寄りの営業所、または下記の弊社・工場にお願いします。
名古屋営業所、仙台営業所、東京営業所、静岡営業所、岡山営業所、富山営業所、大阪営業所、加古川営業所、名古屋営業所、広島営業所、福岡営業所

株式会社 ティエルピー

本社・工場 兵庫県加古川市野口町長砂 881 番地 〒675-8511
TEL (079) 427-1800
FAX (079) 422-2277
TLV 技術 110 番 (079) 422-8833